作成日：2026 年 8 月 8 日　第 1 版
〔ホームページ公開用資料〕

肺高血圧症、右心不全の機序解明に関する病理組織学的研究

１．臨床研究について

九州大学病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特性を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。その一つとして、九州大学病院循環器内科では、現在肺高血圧症、右心不全の患者さんを対象として、機序解明に関する「臨床研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2031 年 3 月 31 日までです。

２．研究の目的や意義について

九州大学病院では、様々な疾患の多くの患者さんが治療を受けておられます。治療により症状が軽くなる患者さんが多くいらっしゃる一方で、長期に治療を受けられた後に、残念なことではありますがお亡くなりになる患者さんもいらっしゃいます。

九州大学病院では、そういった患者さんやご家族にご了承いただいた場合に、病理解剖をさせていただき、病態の究明や今後の治療の向上につなげさせていただく場合があります。

肺高血圧症は、さまざまな原因によって、肺小血管の収縮や新生内膜増殖などのリモデリングによって肺動脈圧が上昇する疾患群です。呼吸苦や倦怠感などの症状が出現し、最終的には右心不全へ至る重篤な疾患です。これまで多くの薬剤の併用により予後は改善してきていますが、右心不全にまで至った方の生存率は低く、心筋自体への治療薬は未だない状況です。

そこで、今回循環器内科学教室では、患者さんからご提供を受けた大変貴重な病理解剖組織の一部を用い、肺高血圧症と右心不全に関する蛋白の解析を行い、新たな進展機序を明らかにし、新規治療薬を創出したいと考えております。

３．研究の対象者について

1989 年 4 月 1 日から 2026 年 8 月 1 日までに九州大学病院において、肺高血圧症で亡くなられた患者さんのうち、病理解剖が行われ、病理組織が保存されている方 5 名を対象とします。また、対照群として同期間に他の疾患で亡くなられ、循環器疾患や肺に異常のない患者さん 3 名も対象とします。

対象者となることを希望されない研究対象者のご家族などの代理人の方は、下記連絡先までご連絡下さい。この研究における病理組織の使用をお断りになられたとしましても、患者さんやご家族が不利益を被る事はありません。

４．研究の方法について

この研究を行う際は、カルテより以下の情報を取得します。また、保管されているホルマリン固定心筋と肺組織の標本を用いて、免疫染色という方法で肺高血圧症や右心不全に関連する蛋白を評価します。測定結果と取得した情報の関係性を分析し、右心不全に対する影響を明らかにします。

〔取得する情報〕

年齢、性別、右心カテーテル検査（平均肺動脈圧、肺血管抵抗、心拍出量）

〔利用又は提供を開始する予定日〕

研究許可日以降

５．研究への参加を希望されない場合

この研究への参加を希望されない方は、下記の相談窓口にご連絡ください。

なお、研究への参加を希望されなくても、診断や治療に不利益になることは全くありません。その場合は、収集された情報は廃棄され、取得した情報もそれ以降はこの研究目的で用いられることはありません。ただし、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。

６．個人情報の取扱いについて

研究対象者の病理組織、測定結果、カルテの情報をこの研究に使用する際には、研究対象者のお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。研究対象者と研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、九州大学大学院医学研究院循環器内科学分野内のインターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、九州大学大学院医学研究院循環器内科学分野・教授・阿部　弘太郎の責任の下、厳重な管理を行います。

ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

７．試料や情報の保管等について

〔試料について〕

この研究において得られた研究対象者の病理組織等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学大学院医学研究院循環器内科学分野において同分野教授・阿部　弘太郎の責任の下、５年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

〔情報について〕

この研究において得られた研究対象者のカルテの情報等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学大学院医学研究院循環器内科学分野において同分野教授・阿部　弘太郎の責任の下、１０年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

しかしながら、この研究で得られた研究対象者の試料や情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えています。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

８．この研究の費用について

この研究に関する必要な費用は、部局等運営経費でまかなわれます。

９．利益相反について

九州大学では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのための資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。

一方で、産学連携を進めた場合、患者さんの利益と研究者や企業等の利益が相反（利益相反）しているのではないかという疑問が生じる事があります。そのような問題に対して九州大学では「九州大学利益相反マネジメント要項」及び「医系地区部局における臨床研究に係る利益相反マネジメント要項」を定めています。本研究はこれらの要項に基づいて実施されます。

本研究に関する必要な経費は部局等運営経費でまかなわれており、研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありません。

利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。

利益相反マネジメント委員会

（窓口：九州大学病院 ARO 次世代医療センター　電話：０９２－６４２－５０８２）

１０．研究に関する情報の公開について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

また、この研究では、学会等への発表や論文の投稿により、研究成果の公表を行う予定です。

１１．特許権等について

この研究の結果として、特許権等が生じる可能性がありますが、その権利は九州大学に属し、研究対象者には属しません。また、その特許権等を元にして経済的利益が生じる可能性がありますが、これについても研究対象者に権利はありません。

１２．研究を中止する場合について

研究責任者の判断により、研究を中止しなければならない何らかの事情が発生した場合には、この研究を中止する場合があります。なお、研究中止後もこの研究に関するお問い合わせ等には誠意をもって対応します。

１３．研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所	九州大学病院循環器内科 九州大学病院病理診断科・病理部 九州大学大学院医学研究院 循環器内科学分野 九州大学大学院医学研究院 形態機能病理学分野
研究責任者	九州大学病院循環器内科　助教　吉田　賢明

研究分担者	九州大学大学院医学研究院循環器内科学分野　教授　阿部 弘太郎 九州大学大学院医学研究院形態機能病理学分野　教授　小田 義直 九州大学病院病理診断科・病理部　准教授　岩崎 健 九州大学大学院医学研究院附属心臓血管研究施設　助教　桑原志実 九州大学大学院医学系学府循環器内科学分野　大学院生　和泉 遼 九州大学大学院医学系学府循環器内科学分野 大学院生　郡山 遥平 九州大学大学院医学系学府循環器内科学分野 大学院生 加峯 圭佑 九州大学大学院医学系学府循環器内科学分野 大学院生 冨士本悠吾

１４．相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等がある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 （相談窓口）	担当者：九州大学大学院医学系学府循環器内科学分野　大学院生　和泉 遼 連絡先：〔TEL〕092-642-5360（内線 5360） 〔FAX〕092-642-5509 ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：izumi.ryo.465@m.kyushu-u.ac.jp

【留意事項】

本研究は九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会において審査・承認後、以下の研究機関の長（試料・情報の管理について責任を有する者）の許可のもと、実施するものです。

九州大学病院長　中島　康晴